

恵那市監査公示第2号

令和6年度随時監査（工事関係）結果の公表について

地方自治法第199条第5項の規定により、令和6年度随時監査（工事関係）を実施したので、同条第9項の規定に基づき、その結果を次のとおり公表する。

令和7年5月12日

恵那市監査委員 水野 泰正
恵那市監査委員 服部 紀史

記

1. 監査対象

令和7年1月10日までに契約された契約金額が1千万円以上（変更契約後1千万円以上も含む）の工事。なお、令和5年度からの繰越事業及び修繕費で計上している事業も対象とする。

2. 監査日時 ①令和7年3月19日（水曜日）午前9時15分～11時
 ②令和7年4月3日（木曜日）午後1時30分～3時40分

3. 監査場所 各事業の工事現場

4. 監査実施事業

契約金額が1千万円以上の事業の中から委員の合議により次の5事業を対象とし、下表のスケジュールで実施した。

2. 日 程
（3月19日）

No	時 間	監査実施工事／監査場所	担当課
	9:00出発	市役所前出発	
1	9:15～10:00	恵那市学校給食センター食器洗浄機更新工事	学校給食センター
2	10:15～11:00	藤花苑設備機器修繕工事 他	環境課

(4月3日)

No	時 間	監査実施工事／監査場所	担当課
	13:00出発	市役所前出発	
1	13:30～14:00	中野方地域公園工事	都市整備課
2	14:20～14:40	榎ヶ根浜松線他道路改良工事	建設課
3	15:10～15:40	山岡中学校法面工事	建設課

5. 監査の着眼点

- (1) 計画の整合性 予算との整合性、事業目的と施工内容の整合性、期待される効果
- (2) 手続きの適正性 各決裁手続きは適切に行われているか
- (3) 施工監理 工法等の選択、工程管理、打ち合わせ等の記録等

6. 監査の方法

次のように、書類確認と現地監査を実施した。軽微な事項についてはその場において口頭で指摘した。

(1) 書類確認

以下の書類の写を事前に提出させ、事前に内容を確認した。

- ① 契約関係書類 施行伺書、変更契約伺書、契約書、変更契約書、着手届、完成届、検査調書、完成写真、契約台帳 等
- ② 事業概要の分かる書類及び図面
- ③ 監督関係書類 工事工程表、現場代理人・主任技術者(管理技術者)届及び下請人名簿、施工管理記録 等
- ④ 会計書類 支出負担行為決議書、支出命令書

(2) 現地監査

現地において担当者から事業の概要及び工事の内容の説明を受け、進捗状況等を確認するとともに、質疑等を行った。

7. 監査の結果

関係書類については特に問題はなく、いずれの事業も正当な理由で適正に執行されているものと認められた。

個別の事業の現地監査内容については、次の通りである。

恵那市学校給食センター食器洗浄機更新工事 (学校給食センター)

本工事の工期は、5月1日から1月15日までで、契約金額は73,295,200円。12月20日に詰め替え用食器かごなどの追加による増額及び工期延長の変更契約があった。施工業者は、岐阜アイホー調理機株式会社。契約方法は指名競争入札。

工事内容は食器洗浄機の更新で、それに伴う詰め替え用かご75個、移動台2、台、滑り板2個の更新。恵那市給食センターが指定した仕様の機械で、既製品でないものを導入したため、工期が半年以上と長くなった。

性能は、従来よりも上がっており、洗浄機の洗剤の力と水圧の力が強力で、汚れなどが酷くてもきれいに洗えている。また、除菌の機能として、消毒保管器(高温:90度で90分以上加熱)で菌を死滅させることができ、衛生基準はクリアしている。対応できる食数は3,000食で、今後の生徒数減を見込み、処理能力に余裕は持たせていない。メンテナンスは、夏休みを利用して行う。

機械導入後は、現在は人員減にはつながっていないが、慣れてきて効率が上がれば、人員減も可能となる。

藤花苑設備機器修繕工事 他(環境課)

本工事監査は、次の3工事について行った。

① 44号 藤花苑設備機器修繕工事

工期 5月1日から令和7年3月6日

契約金額 30,800,000円

施工業者 日立造船株式会社中部支社

工事内容 整備計画に基づく、焼却設備にかかる各種機械・機器などの定期修繕

② 45号 藤花苑機械器具点検修繕工事

工期 5月1日から令和7年3月6日

契約金額 19,800,000円

施工業者 日立造船株式会社中部支社

工事内容 整備計画に基づく、各種機械、機器などの点検修繕・取り替え

③ 54号 処理棟ポンプ点検修繕

工期 5月31日から令和7年3月6日

契約金額 12,914,000円

施工業者 正栄電気株式会社

工事内容 整備計画に基づく、各種ポンプなどの点検修繕・取り替え

整備計画により継続的に行うものではあるが、工事費が大きいことがあるので、工事設計・契約を行う段階においては、発注方法、工期などを十分に検討したうえ、適切な発注ができるよう図られたいと監査委員が意見した。

中野方地域公園工事（都市整備課）

本工事の工期は、5月10日から10月16日までで、契約金額は37,998,400円。9月17日に遊具の納入の遅れによる工期延長の変更契約、10月4日に遊具組み立て設置工事の変更及び整地・法面工事の追加による増額変更契約があった。施工業者は、株式会社近藤工務店。

工事内容は、除草工事、整地工事、沈砂池設置工事、防護柵設置工事、雨水排水工事、湧水処理工事、芝張り工事、遊具設置工事、看板設置工事

子どもの遊び場だけでなく、地域の憩いの場として整備。コンセプトは「子どもたちが自然の中で遊びを創造できる公園」としている。傾斜を生かした進化していく公園を目指した。

土地は市の土地。設計は、地元の方と4回の会議で意見を交わしながら自前で行った。傾斜の土地を生かす形で公園とした。中野方町の中心部にあり、小学校や学童保育所からも近く、利用しやすい場所である。地域の人の1つの活動拠点として、間伐材でベンチや遊具を作るなどして、公園を育てている。

工事の業者は入札で地元の事業者となった。遊具も含めて1事業者が設置した。遊具が劣化したときの保守については、保証期間を越えると直すためのコストは今後必要となる。市が設置した遊具は専門的な会社の遊具となる。

槇ヶ根浜松線他道路改良工事（建設課）

本工事の工期は、9月13日から令和7年11月28日までで、契約金額は126,555,000円。3月19日に新たな作業道の確保などに伴う工期延長の変更契約があった。施工業者は、恵中建設株式会社。

現時点では工期変更のみだが、今後、請負額も100万円程度変更される見込みで、繰越予算での対応となる。工事着手時に見込めるとよかった。

工事の内容は、恵那西工業団地側から掘り込みを渡って槇ヶ根浜松線に接続するもので、来年度以降も続く工事となる。第1弾として、北山川を渡るためのボックスを造っている。今後は現場にある土を使って盛り土を行い、舗装などを行っていく。この工法が橋を造るよりも安価となる。完成すれば工業団地のアクセス道路の一つとなる。財源は社会資本整備総合交付金を活用している。将来的には瑞浪恵那道路との接続も視野に入れている。

山岡中学校法面工事（建設課）

本工事の工期は、12月27日から令和7年12月19日までで、契約金額は91,300,000円。3月24日に工期延長の変更契約があった。早く発注ができなかったのは、土地買収に時間を要したためである。施工業者は、板垣建設株式会社。

工事の内容は、山岡中学校の西側から北側にかけての山がレッドゾーン（高さ5メートル以上、斜度30度以上）に指定されているため、指定を解消するため、

斜面を緩やかにするなどの工事を行っている。西側では、斜面の高さを5メートル以下にして、平場を設けた上、さらに斜面の高さを5メートル以下にするようにしながら段々を形成していく。仕上げは法面植生。この工法が一番安価でできる方法となる。また校舎北側では、擁壁が高いため、ある程度の高さまで埋め立てを行う。斜面を削った土を利用して埋め立てる。学校運営をしながら当工事と校舎建築工事をしている関係で、工程調整を行いながら工事を行っている。恵那南中学校開校前にレッドゾーンを県に外してもらうよう進める。